新潟県



彩り鮮やかなチューリップと 菜の花迷路が楽しめます



今年で27回目を迎える春の祭典。チューリップの球根の販売やヘリコプター遊覧飛行、写真コンテスト、チューリップウェディングなどのイベントを開催します。

●●●目 次●●●

●市町村紹介コーナー「胎内市」 2~	-3
●検査補助業務	4
●東日本大震災応援派遣職員紹介	5
●新採用職員紹介	5
●雪のことば・雪のこころ	6
●建設材料試験の豆知識	7
● けんせつセミナー・クリエイティブセミナーのご案内…	8



URL http://www.niigata-ctc.or.jp/

〒950-1101 新潟市西区山田 2522-18 TEL025-267-4804 FAX025-267-4854 **○○**.0120-733-308

男とファー 携帯サイトの QRコードです! お試しを!





❷ 胎内市

自然が活きる、人が輝く、交流のまち

●胎内市のプロフィール

面 積 264.89km

人 **口** 30,496人 (平成28年2月29日現在) 世帯数 10,674戸 (平成28年2月29日現在)



平成17年9月に中条町と黒川村が合併して誕生した胎内市。市の東側には飯豊連峰、西側は日本海に面しており、市域の中央部を胎内川が縦断しています。川の上流部は四季折々の渓谷美に彩られるほか、扇状地には緑の優良農地、日本海につながる河口の海岸線には15kmに及ぶ砂丘と松林が広がり、ほぼ等間隔に並ぶ11基の巨大な風車がランドマークとなっています。自然の景観の美しさとスキー場、ホテルなどを中心とした観光リゾートをお楽しみいただけます。

●胎内市のみどころ

【春~秋】

- ・動物と触れ合える「樽ケ橋遊園」
- ・胎内スキー場から約15km山間に進んだところに位置する「奥胎内ヒュッテ」。夏山・紅葉シーズン(6月中旬~11月中旬)のみ営業。日帰り入浴も可能です。
- ・子供たちが楽しみながら学べる 「胎内昆虫の家」



樽ケ橋遊園 (アルパカ)



胎内昆虫の家



奥胎内ヒュッテ

飯豊連峰

【夏】

- ・日本一小さい山脈「櫛形山脈」と、新潟・山形・福島の 三県にまたがる「飯豊連峰」は日帰りのトレッキングか ら本格的な登山まで楽しめます。
- ・ 県内外から約2万人が訪れる星空の祭典 「胎内星まつり」
- ・胎内川の河畔にある釣り堀公園 「胎内フィッシングパーク」



胎内星まつり



胎内フィッシングパーク

【冬】

・全 14 コースのバリエーションの多さが魅力の 胎内スキー場



胎内スキー場

【通年】

・ロイヤル胎内パークホテル (日帰り入浴もできる温泉が魅力)



ロイヤル胎内パークホテル

●主な特産品

【米粉】

日本で初めて米粉専用製粉工場ができたのが胎内市。 米粉発祥の地として各種イベントが開催され、市内で米 粉を使用した料理やスイーツが楽しめます。



胎内産米粉・パウダーライス

【胎内高原ワイン】

自園産ぶどうのみを使用。 市直営のワイナリーで低温 発酵、熟成、貯蔵された手 作りワインです。



胎内高原ワイン



●主な催し(年間予定)

4月23日~5月5日	チューリップフェスティバル(長池憩いの森公園)
4月29日	櫛形山脈山開き登山(関沢森林公園)
7月1日	黒川燃水祭(シンクルトン記念公園)
7月上旬	飯豊連峰胎内登山口山開き登山(奥胎内ヒュッテ)
7月中旬	村松浜海水浴場海開き
8月15日	胎内温泉まつり(胎内スキー場前広場)
8月26日~28日	胎内星まつり(胎内平)
9月18日	中秋の名月・板額の宴(奥山荘歴史の広場)
9月下旬	米粉フェスタ in たいない(胎内市総合体育館)
2月中~下旬	胎内スキーカーニバル(胎内スキー場)

~工事検査に関する幅広い知識と経験により品質を確保します~

検査補助業務は、工事検査に関する幅広い知識と経験を備えた支援検査員が業務を担当します。 また、検査対象は一般土木工事となり、臨時検査や工事成績評定を行う発注者支援事業です。

■業務内容

業務名:建設工事評定業務委託

業務期間: 平成27年11月~平成28年3月

委託者: 弥彦村役場

業務内容:工事成績評定(請負金額130万円以上)

①工事内容把握 ……事前現地確認、設計図書確認

②書類及び現場検査……工事管理状況・出来形・品質・出来ばえの検査 ③工事成績評定 ……発注者が定める工事成績評定採点基準により評定

■工事成績評定内容(平成27年12月時点)

工事番号:都整第5号

工 事 名:村道矢楯観音寺線景観舗装工事

工事概要:施工延長 L=110m W=3.1、3.5 m

表層丁 337m² 地先境界ブロック 209m Co構造物撤去 1式 舗装版切断 227m

工事番号: 単水第14号

工事名: 弥彦地内水道管布設路線舗装復旧工事

工事概要:施工延長L=127.7 m

表層工 263m² 基層·表層工 245㎡ 舗装版切断 62m 区画線 1式

工事番号: 単水第15号

工事名: 矢作地内水道管布設路線舗装復旧工事

工事概要:施工延長L=56.7 m

表層丁 99m² 基層・表層工 190㎡ 舗装版切断 59m 区画線 1式







■支援検査員からの一言

支援検査は、発注者の指揮のもと、発注者検査職員の行う検査行為を支援するものであり、実地及び資料に基づき、事実を正しく判断して、厳正に、客観的に、公正に行っています。 また、受注者とは対等の立場を念頭に、信頼関係を保持し、誠意を持って検査を進行することを心がけて

います。

支援検査員 田中 修

東日本大震災応援派遣職員紹介

平成28年1月より、全国建設技術センター等協議会(以下、「全技協」)の応援職員として、一般財団法人ふくしま市町村支援機構(以下、「支援機構」)に赴任しました。こちらでは業務部に配属され、福島県および市町村の発注者支援業務を行っています。

災害発生時から、全技協では応援派遣や遠隔地積算によって福島県の災害復旧事業を支え、延べ13団体72名が復旧・復興に向けた支援の取り組みをしています。また、そのうち3団体は遠隔地積算という形態で福島県を離れた地域にいて支援に取り組んでいます。

東日本大震災から5年になります。復興に向けて今も災害復旧工事が行われている状況です。福島県の被災 箇所は帰還困難区域を除きの94%の箇所で事業に着手し、うち79%が完成しています。福島県の内陸部である 中通りと会津地方は完了していますが、太平洋側の浜通り地方では原発事故の影響により復旧が遅れていま

す。平成28年度より5年間を「復興・創生期間」と位置付け「福島県復興計画(第3次)」を作成し、復興事業を進めていく状況です。

想定できないような災害にみまわれ5年が経ちます。 福島市内はどこのまちとも変わらぬ風景ですが、浜通り の海岸では復旧工事が行われており、帰還困難区域で はこれから復旧工事が行われることでしょう。今回、福 島県の復興に携わる機会をいただき、3ヶ月間という短 い期間ではありますが、多くのことを経験できました。

最後に被災されたみなさまに一日も早く平穏な日々 が戻ってくるように願っております。



一般財団法人ふくしま市町村支援機構 業務部 小松 貴志

問題是紹介

平成28年1月に入社致しました平澤未来と申します。 現在は技術部に配属され、公共工事発注者支援事業に 関する業務を担当しております。

土木は未経験の分野で不安もありましたが、先輩職員の皆さんに一から丁寧に教えていただき、日々学びながら業務に励んでおります。センターでは多くの知識を得ることができる環境を与えていただき、とても幸せに思っております。また、長岡からの通勤にもすっかり慣れ、今では朝の日射しを浴びながら音楽を聴くリフレッシュの時間になっております。

まだまだ手探り状態の毎日ですが、一日も早く地域社会に貢献できるような技術員になるべく、精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



技術部、平澤、未来



平成28年1月24日には中越地方の北部で大雪となり、高速道路や国県道、市町村道が40時間に渡り通行止めになりました。

この雪の降り方は長岡市でも珍しく、長岡市栖吉にある雪氷防災研究センターでも、25日9時に雪尺で測定した日降雪量(24日の日降雪量の記録となる)83.2mでした(図2)。これは、過去48年間の4番目の記録で、61豪雪から約30年ぶりです。長岡市の北部の新潟県与板観測点では、1日に1m近く積雪深が増加しています。ま

た、時間降雪量は 10cmを超える猛烈な雪も降っています(図1)。

このような大雪のため、長岡市内では、各地で大渋滞が発生しました(図3)。市内の消雪パイプが敷設してある道路でも渋滞が起きていました。消雪パイプが雪を融かす能力は時間当たり数㎝ですので、時間当たり10㎝も降ると融けずに残ってしまいます。また、消雪パイプは自動車通行によって地下水と雪が拡散される効果も見越していますので、渋滞が発生するとさらに雪が残ってしまいます(図4)。また、研究センター付近の道路も除雪が遅れ(図5)、市内の小中学校は休校となったところが多かったようです。

ふだん雪のそれほど多くないところへ1日1mの雪が降ったことが大混乱の直接的な原因ですが、30年前からの社会生活が変化したことも関与していると思います。

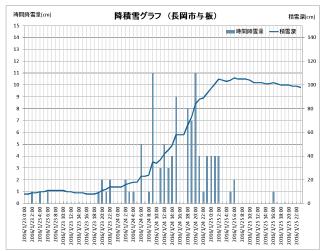


図1 新潟県与板観測点における積雪深と時間降雪量

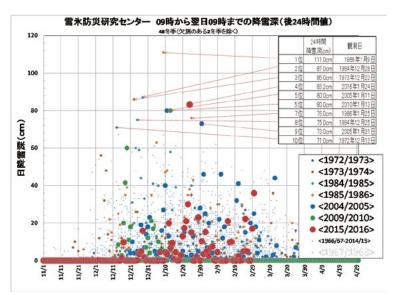


図2 雪氷防災研究センターにおける日降雪量



図3 長岡市内の渋滞状況(福田高子氏撮影)



図4 消パイ設置路線の残雪状況 (福田高子氏撮影)



図5 雪氷研周辺集落の降雪状況 (土田直子氏撮影)

建設材料試験の



土の液性限界・塑性限界試験について



1. 目的

土が塑性体状から液体状に移る境界の含水比である液性限界WLと、土が塑性体状から半固体状に移る境界の含水比である塑性限界Wpを求めます。また、両者の値から塑性指数/pを求めます。



2. 試験方法

(1) 液性限界試験:含水比調整した試料(4~6個)を黄銅皿に入れ、厚さが約1㎝になるよう整え中央部で溝を切り、1㎝の高さから1秒間に2回の割合で落下させます。二分された溝の底部が約1.5㎝合流したときの個々の落下回数と含水比を求め、25回に相当する含水比が液性限界となります。



溝切りで試料を二分



黄銅皿を落下



試料の合流

(2) 塑性限界試験:液性限界試験で用いた試料の塊を、ガラス板上で手のひらで転がしながら直径 3 mmのひも状にした時、切れぎれになるときの含水比が塑性限界となります。



3. 結果の利用

試験によって得られた液性限界WLと塑性限界Wpおよび塑性指数/pより、路盤材料の品質規格の判定や、土の相対的な硬さの推定などに利用されます。

	粒状路盤材料の品質規格		粘性土の相対的な硬さと安定度	
	材料 上層路盤 下層路盤	塑性指数 /p 4 以下 6 以下		●自然含水比 Wn が塑性限界 Wp に近ければ、硬くて圧縮 強度が大きい。逆に、Wn が液性限界 WL に近ければ、 液状の軟らかい不安定な状態を表しています。
	●塑性指数 Ip の高い材料は、水の影響によって支持力低下をまねくため、「舗装施工便覧」では、上記の値と定められています。			NP(Non-Plastic:非塑性)
7			●液性限界試験で試料に溝が切れない場合。塑性限界試験で直径3mmのひも状にならない場合をNPと表しています。	

• けんせつセミナー2016のご案内

建設技術に関する実務的な研修を中心とした単元構成により、現場施工に繋がる経験や知識の習得と基礎から最新の専門技術までの幅広い技術情報に関する理解を促進し、県内建設技術者の専門能力向上を目指して実施しています。

平成 28 年度セミナー予定

No.	研 修 名	日数	i	CPD		
NO.			県	市町村	民間	認定
1	初任者技術研修	3		0		0
2	自然災害時の危機管理	1		0		0
3	土質·地質調査 I (基礎編)	1	0	0		0
4	土質·地質調査Ⅱ(応用編)	1	0	0		0
5	雪氷技術	1	0	0		0
6	土木施工管理	1	0	0		0
7	斜面対策技術	1	0	0	0	0
8	道路設計	2	0	0	0	0
9	橋梁 I (下部工の設計・施工編)	1	0	0	0	0
10	橋梁Ⅱ(上部工の設計・施工編)	1	0	0	0	0
11	道路舗装の調査・設計・施工(新潟会場)	1	0	0	0	\circ
12	道路舗装の調査・設計・施工(上越会場)	1	0	0	0	0
13	鋼矢板構造物の計画・施工	1	0	0	0	0
14	コンクリート構造物の維持管理(新潟会場)	1	0	0	0	0
15	コンクリート構造物の維持管理(上越会場)	1	0	0	0	0

[☆]開催時期については、HP に掲載いたします。

クリエイティブセミナーのご案内



H27年度 第1回クリエイティブセミナー (自治会館)

平成8年度より開催しておりますクリエイティブセミナーを平成28年度も開催いたします。

昨年度は、5回の開催で多数ご参加いただきました。

今年度も魅力あるクリエイティブセミナーを計画しております。

詳細が決まり次第、HP に掲載いたします。 多数のご参加をお待ちしております。

☆詳しくは、当センターホームページをご覧 いただくか、下記までお問い合わせ下さい。 情報管理部 情報管理課 TEL: 025-267-4820 FAX: 025-267-5260 E-mail: kensyuu@niigata-ctc.or.jp URL: http://www.niigata-ctc.or.jp

日のがた御当他くのず

Q25. 胎内市のイベントにちなんだクイズです。

チューリップフェスティバルでは、約60種類のチューリップが2ヘクタールの畑に広がるほか、その隣に同じく2ヘクタールの菜の花畑の迷路も作られます。このフェスティバル期間中に展示されるチューリップの本数は何本でしょうか。

- ①約30万本
- ②約50万本
- ③約80万本



編集後記

山々は紫にかすみ、春の息吹がたちこめて、生命の躍動を感じる今日この頃です。

皆様にはどのような春が訪れていますでしょうか?

平成28年度がスタートいたしました。

この度の春号では、胎内市様のご寄稿はもとより、新規事業として「検査補助業務」を紹介させていただきました。

当センターだよりも初刊から7年目を迎え、新潟県・市町村ならびに建設事業者の皆様に様々な情報を提供できますよう、またセンターの役割についてもお伝えしていきたいと思います。

今後も地方公共団体の補完・支援機関として、安心・安全な地域 づくりに貢献するために、職員一丸となり取り組んでまいります。 益々のご愛顧を頂きますよう宜しくお願いいたします。

(総務部副参事 平山 サチ子)



